

2020年8月11日
北近畿経済新聞(3面)に掲載されました

人生の
「ねじ」を巻く
77の教え

日東精工株式会社

20 心の眼を磨けば
他人のいいところが
見えてくる

感謝の気持ちを持つ

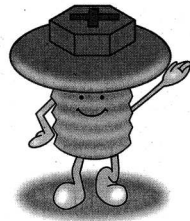
人には誰でも長所があれば短所もあります。そして周囲の人に対しては、短所を見るより長所を見るようにしようといわれても「やっかいわれます。別のいい方をすれば、人のすばらしい面を発見する人は、すばらしい心の眼を持った人である」と定義してみたいと思います。

あの人は、いつも笑顔がいい。苦しいときや、いやな日もあるだろうに、いつも笑顔を絶やさない。私もあの人のいいところを見習いたい、と思う心。あるいは、朝、早く出勤して率先して掃除をしている、しかも今日一日の仕事の段取りをつけている、本当に尊敬できる人だな、と感心する心。

見落としがちなところを意識してしっかり見る。それは、感謝にもつながります。

小さなこと、大きなことにかかわらず、人のすばらしい面を素直に見出し、認められる人は、その人自身もまたすばらしい心の眼を持った人だといえるでしょう。

今日一日、誰かのいい面に目を向けて、あなたの心の眼を磨いてほしいものです。



※人生の「ねじ」を巻く77の教えより転載

人生の「ねじ」を巻く
77の教え

日東精工株式会社 企画室

ひとつ欠けても、成り立たない。「ねじ」も「会社」も同じです。

人生の「ねじ」を巻く77の教え
著者 日東精工株式会社 企画室
発行所 株式会社ポプラ社
1,000円(税別)で販売中